

「我が家の工夫」

八千代松陰中学校

小林

歩未

私の父は、雨の時

「ただ流れてしまおうのはもったいない。」

と約十八年前、一階の雨どいの下にドラム缶を置きました。はじめは庭の植物の水やりやそうじに雨水を使いました。その後、トイレに流す水に使えないかと考え、十五年前にベランダに大きな九十リットル入る水そうを二つ設置しました。そして雨どいからその水そ

うに雨水がたまるとホースを通ってトイレのタンクにたまるようになってたのです。つまり、我が家のトイレは雨水を利用したトイレです。雨が降らない時は、水道水に切りかえることができません。

私の家は六人家族なのでトイレの水は皆が使えばかなりの使用量です。でも、この雨水トイレのおかげで我が家の水使用は節約できると母も喜んでいます。「雨が降ると経済的なので前はうっ」としいことの明かした雨です



が、今はありがたいなと思えます。すきとお  
ったきれいな雨水は貴重だと思います。

私はぜひ、住宅メーカーで雨水タンクを設  
置した家を積極的に売り出したら良いと思い  
ます。父の手作りタンクはホームセンターで  
売っている大型収納ボックスと雨どい、ホ  
ースで作られています。北側のかべをホースが  
トイレの窓へのびて、見た目は今一つかもし  
水ませんが、メーカーが作ればきっと見ばえ  
も良くなると思います。

うちでは、二階の水そうがらっぽになり  
一階のドラム缶に雨水がある場合、ポンプを  
使って二階に水をくみ上げています。その点  
も工夫して室内で操作するようにはできたら、  
面どうな作業でなくなるのにも思っています。  
す。

雨水は、ためておけば防災用の水にもなる  
と思います。飲料水としては、煮沸しないと  
とても飲めないと思います。以前、家族旅行  
で行った、勝浦の仁衛門島では、今でも雨水



を飲料水にしているとのことでした。家にも  
 定量の水が確保できているというのほとても  
 心強いと思います。

このように、雨水で節約できる住宅が普及  
 すれば、今話題のソーラーパネルを屋根に取  
 り付けた住宅とならんで代表的なエコ住宅に  
 なると思います。ただし、夏のボウフラ対策  
 に、タニクや氷そうはフタつきのもがおす  
 すすめです。そして、水の残量を確認したり、  
 水そうのそうじをしたり手間のかかることも

多いので、それを楽しんで生活に取り入れら  
 れるかどうかが一番重要な点かもしれません。